

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力 I	授業科目名	基礎英語		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	17	対応 D P	2,4
担当講師	藤原 花連	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 中学校英語から復習し、今後本格化する英語学習（TOEIC対策や観光英語検定対策、英会話等）に向けた準備を行う。					
〔到達目標〕 文法・単語・聞き取りにおいて英語検定 3 級程度の理解力を目指す。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は小テスト（50%）、課題の内容（20%）、受講態度（30%）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80%以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内容の復習・問題演習に努めること。					
授業計画・内容					
1コマ	授業オリエンテーション				
12コマ	chapter1～10				
4コマ	ミニテスト①～④				
〔教材・テキスト等〕 大学入試はじめの英文法ドリル、レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力 I	授業科目名	TOEIC L&R 演習 I		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	146	対応 D P	2,4
担当講師	藤原 花連	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ビジネスの場面における日常的かつ利用頻度の高い英単語や会話を理解し、英語によるコミュニケーションに対応できる語学力を習得する。					
〔到達目標〕 TOEIC® 450 点以上を目指す。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は定期試験（50％）、小テスト（20％）、受講態度（30％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内容の復習・問題演習に努めること。					
授業計画・内容					
1コマ	授業オリエンテーション				
29コマ	TOEIC L&R プラクティスリーディング・リスニング Unit1～20				
2コマ	ミニテスト①・②				
100コマ	模試実施・解説				
14コマ	年2回以上 TOEIC受験				
〔教材・テキスト等〕 TOEIC L&R プラクティスリーディング・リスニング、公式TOEIC問題集11、レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力Ⅰ	授業科目名	観光英語Ⅰ		
所 属	外語観光学科	開講期間	1年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	108	対応DP	2,4
担当講師	遠藤 ゆりえ	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 観光業に携わる上で必要となる、基礎的な英語力とコミュニケーションスキルをバランスよく習得することを目指す。					
〔到達目標〕 日常レベルの英会話ができるようになること、その上で日本の文化や観光地を紹介するための会話力を身につける。					
〔成績評価の方法・基準〕 定期試験（40％）、授業内のミニテスト（30％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業の復習に取り組むこと、様々な英語のソースに積極的に触れること。					
授業計画・内容					
5月	授業オリエンテーション、自己紹介、レベル判定ミニテスト				
6月 7月	ディクテーション練習、観光に必要な英単語の習得、基本的な日常会話トレーニング 定期試験に向けた復習				
9月～	前期の内容＋ロールプレイ等を通じた観光英会話トレーニング				
2月	1年間の総復習、定期試験に向けた学種				
3月	定期試験				
〔教材・テキスト等〕 『通訳案内士試験にでる日本的事象英文説明300選』 著／ハロー通訳アカデミー 植山源一郎 『英会話・ぜったい 音読』 著／國弘正雄					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 外国人旅行者に対する観光ガイド、スクールトリップ（アメリカ、オーストラリア等）のツアー企画・ガイド経験者。					
〔備 考〕					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力 I	授業科目名	英会話 I		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	108	対応 D P	2,4
担当講師	三上 佳月	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・英語の窓を通じて多様な文化に触れる喜びを知りながら、自身の考えの伝達を自信を持って行うための思考力を培う。 ・初歩的な発語スピードによる英語でのアドリブ会話力を身につける。					
〔到達目標〕					
・1分間の発語数（wpm）130語の速度で音読をした後に、続けて概要を日本語に訳して伝えることができる状態。 ・英語の質問に対し、wpm100語の速度でアドリブで返答できる状態。					
〔成績評価の方法・基準〕					
試験（30％）、出席率（30％）、受講態度（40％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
スピーキング速度向上のための練習					
授業計画・内容					
1コマ目	自己紹介・授業オリエンテーション				
17コマ	発語練習：歌や文章を使った音読練習、内容理解練習、発音チェック				
17コマ	シナリオ作りとロールプレイ：会話のイメージ力の習得、アドリブ会話練習、重要表現の確認				
16コマ	対話・スピーチ・プレゼンテーション：自己表現力の習得、語彙力の習得				
52コマ目	中間考査（プレゼンテーション＋質疑応答）				
18コマ	発語練習：歌や文章を使った音読練習、内容理解練習、発音チェック				
18コマ	シナリオ作りとロールプレイ：会話のイメージ力の習得、アドリブ会話練習、重要表現の確認				
19コマ	対話・スピーチ・プレゼンテーション：自己表現力の習得、語彙力の習得				
108コマ目	学年末考査（プレゼンテーション＋質疑応答）				

〔教材・テキスト等〕 発語練習のための英語素材（授業のたびに提供）
〔履修にあたっての留意点〕
〔実務教員の実務経験〕
〔備 考〕

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	観光マネジメントⅠ		授業科目名	観光総論		
所 属	外語観光学科		開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習		授業時間数	34	対応 D P	1,2,3
担当講師	藤原 花連	実務教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 旅行業や宿泊業、飲食業等の観光に直接的に関わる業種から、神社仏閣や商業施設など観光客の集客施設、旅客運送業、行政機関等、観光を取り巻く業種の現状や課題を理解し、今後のあり方について考える。						
〔到達目標〕 時代と共にある観光の移り変わりや行政・地域との関連性を理解し、現代の観光の在り方について学習内容を基に自分なりの考えを持つことができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は定期試験（50％）、小テスト（10％）、受講態度（40％）、により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。						
〔授業時間外に必要な学修内容〕 普段から地元および国内外の観光資源に関心を持つことが望ましい。						
授業計画・内容						
1コマ	授業オリエンテーション					
17コマ	観光の概念と構造・観光の歴史・観光行動の仕組み・観光と地域社会					
11コマ	観光と環境・観光と宿泊・観光と交通・観光事業					
2コマ	観光の諸制度・観光と福祉・教育					
3コマ	授業の振り返りとプレゼンテーション					
〔教材・テキスト等〕 新現代観光総論-第3版、レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕 企業等における実務経験者						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	観光マネジメントⅠ	授業科目名	持続可能な観光と地域社会		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年後期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	57	対応 D P	1,2,3
担当講師	藤原 花連	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
国内外の事例をもとに持続可能な観光の考え方を理解し、新たな観光コンテンツ造成や観光事業の組織づくりに関する理解を深める。					
〔到達目標〕					
・国内外の事例から持続可能な観光とは何かを自分なりに説明できる。 ・地域に合わせた実用的な観光コンテンツを提案することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
本授業は課題の内容（40％）、受講態度（50％）、プレゼンテーション（10％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
普段から地元および国内外の観光資源に関心を持つことが望ましい。					
授業計画・内容					
1コマ	授業オリエンテーション				
10コマ	釜石市を例に見る持続可能な観光				
3コマ	地元観光事業者 特別講義				
30コマ	観光事業者との連携授業				
13コマ	観光コンテンツの造成・提案				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
事例研究はグループ活動を想定、連携企業先については学習内容を踏まえつつ地元企業に依頼を想定。					
〔実務教員の実務経験〕					
企業等における実務経験者					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	観光マネジメントⅠ	授業科目名	観光産業実習		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年後期		
授業方法	実習	授業時間数	30	対応DP	1,2,3
担当講師	担任・各企業等担当者	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 特に観光産業において、地域で活動している観光団体と連携し実務経験を培う。					
〔到達目標〕 地域の観光産業が直面する現状と課題・取り組みを学習し、他観光に関する授業と関連させつつ理解を深める。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は出席率（50％）、受講態度（50％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
5コマ	事前指導（地域について・活動について）				
5コマ	実践演習①				
10コマ	実践演習②				
5コマ	実践演習③				
5コマ	事後指導（振り返り）				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 企業等における実務経験者					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	地域産業論Ⅰ	授業科目名	インターンシップ		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年前期		
授業方法	実習	授業時間数	25	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	担任・各企業等担当者	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 特定の地域産業の実態について内側から見聞きし、問題発見や課題解決のヒントを得る。 また、お互いの体験報告を共有することで自分が体験した産業以外の実態や課題も知る。					
〔到達目標〕 様々な観点から地域産業の課題を考察できる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は出席率（50％）、受講態度（50％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
5コマ	事前指導				
15コマ	自習				
5コマ	事後指導（振り返り）				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕 受入企業等については、学生の進路・興味関心のある業界へ依頼を想定					
〔実務教員の実務経験〕 企業等における実務経験者					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	地域産業論Ⅰ	授業科目名	経済学		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	72	対応 D P	1,2,3
担当講師	吉田 友哉	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ミクロ経済学及びマクロ経済学の基礎学習を通じて、社会で起こる出来事を経済学的にとらえて考察し、学習したことを地域社会の問題解決に生かせるようになる。					
〔到達目標〕 地域社会における活動について、経済学的な分析及び解決アプローチができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は授業態度（20％）、レポート（60％）、プレゼンテーション（20％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内で終わらなかった制作課題は、次回の授業までに必ず終わらせておくこと。					
授業計画・内容					
1 ～30コマ	ミクロ経済学：需要と供給，市場分析,国際貿易，ゲーム理論等				
31～60コマ	マクロ経済学：GDP（消費者・企業・政府の活動），IS-LM分析，消費理論，等				
61コマ～	1 年の振り返り、最終レポート作成及び発表				
〔教材・テキスト等〕 ・ベーシック+（プラス）／ミクロ経済学の基礎 ・ベーシック+（プラス）／マクロ経済学の基礎〈第2版〉					
〔履修にあたっての留意点〕 経済学は日常生活につながる学習なので、日々の生活の中で様々な疑問を持つよう努めること。					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	地域産業論Ⅰ	授業科目名	地域産業論		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	72	対応D P	1,2,3
担当講師	担任・各企業等担当者	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 地域産業に関する概念・理論を学び、ゲストスピーカーを招きながら地域資源（自然環境、伝統・文化、交通基盤、労働力、既存の地域産業集積等）の有効活用と経済の発展について考える。					
〔到達目標〕 釜石市の既存の地域産業が直面する現状と課題を考察できる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、受講態度（50％）、プレゼンテーション（20％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 普段から地域産業の問題に関心を持つことが望ましい。					
授業計画・内容					
1コマ	授業オリエンテーション				
15コマ	産業とは・釜石の自然環境や文化				
6コマ	地域産業論実践週間の事前学習				
25コマ	釜石の観光と課題				
25コマ	産業の発展と課題・事例研究				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕 グループ活動を想定					
〔実務教員の実務経験〕 企業等における実務経験者					
〔備 考〕					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー基礎	授業科目名	情報リテラシーとネットリテラシー		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	12	対応 D P	1,2
担当講師	大矢 由美子	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 情報化社会に必要な基本知識や情報モラルを学び、インターネットやデータを有効に活用できるようになる。					
〔到達目標〕 ・自他社の権利を侵害せずに情報活用ができる。 ・インターネット上で効率の良い情報収集（検索）ができる。 ・コンピュータウイルスやインターネットを悪用した犯罪から身を守ることができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は検定試験結果A（50％）、受講態度（50％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 特になし					
授業計画・内容					
1 コマ目	授業オリエンテーション、インターネットの基礎				
2 ～10コマ目	公式テキストによるインターネット関連知識の履修、確認小テストの実施、過去問題演習				
11～12コマ目	iBut受験				
〔教材・テキスト等〕 iBut公式テキスト、レジュメ （PCを使用する回については、事前に講師から指示あり）					
〔履修にあたっての留意点〕 検定試験の受験をきっかけに、自身のリアルなネットリテラシーを意識し、向上させること					
〔実務教員の実務経験〕 一般企業（総合建設業システム開発部、福祉および医療分野のソフトウェア開発・販売業）での勤務経験有					
〔備 考〕 特になし					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー基礎		授業科目名	プレゼンテーション		
所 属	外語観光学科		開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習		授業時間数	10	対応 D P	1,2
担当講師	松島 理香子	実務教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 データやビジュアルを駆使して論理的な情報伝達力を養う。併せて、データの収集方法や見方、分析方法等についても学ぶ。						
〔到達目標〕 ・目的に沿った方法で資料の作成ができ、プレゼンテーションができる。 ・スライドを用いて、聴衆に趣旨が伝わるプレゼンテーションができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（40％）、受講態度（20％）、プレゼンテーション（40％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。						
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内で終わらなかった制作課題は、次回の授業までに必ず終わらせておくこと。						
授業計画・内容						
1コマ目	・授業オリエンテーション ・プレゼンテーションの目的と発表技法および効果的なスライド・資料作成のポイント					
2～5コマ目	伝わるプレゼンテーション実践					
6～10コマ目	相手を動かすプレゼンテーション実践					
〔教材・テキスト等〕 レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕 企業における I T 実務経験者						
〔備 考〕						

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー基礎	授業科目名	動画制作基礎		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	45	対応 D P	1, 2
担当講師	小林 大樹	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
商品や店舗、地域等の魅力を発信するツールとして動画の撮影・編集技術を習得する。 併せて、取材交渉の基本や魅力を最大に引き出すインタビュー技術、シナリオ構成力などについても学ぶ。					
〔到達目標〕					
・動画で発信することの意義を理解し、縦型動画や横型動画を編集・投稿することができる。 ・動画制作・投稿の趣旨に賛同してご協力いただくための撮影取材交渉ができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
本授業は課題の内容（40％）、受講態度（30％）、プレゼンテーション（30％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業内で終わらなかった制作課題は、次回の授業までに必ず終わらせておくこと。					
授業計画・内容					
1-3コマ目	授業オリエンテーション、環境設定（アプリインストール、アカウント作成等）				
4-6コマ目	スマートフォン用動画ソフト（Edits）を使った編集技術の基礎習得				
7-9コマ目	スマートフォン用動画ソフト（Edits）を使った編集（撮影～編集～発表）				
10-12コマ目	撮影取材交渉のマナーと取材交渉（電話または店舗訪問）				
13-18コマ目	店舗の撮影取材・編集				
19-21コマ目	店舗の紹介動画発信（取材先への報告・確認、サムネイル作成、成果発表）				
22-24コマ目	PC用動画ソフト（PowerDirector）を使った編集技術の基礎習得				
25-30コマ目	PC用動画ソフト（PowerDirector）を使った編集（撮影～編集～発表）				
31-33コマ目	YouTube発信の応用（動画投稿の流れ・収益化について等）と取材交渉（電話または店舗訪問）				
34-39コマ目	店舗の撮影取材～編集				
40-42コマ目	店舗の紹介動画発信（取材先への報告・確認、サムネイル作成、成果発表）				
43-45コマ目	総まとめ（振り返り等）				

〔教材・テキスト等〕 レジュメ
〔履修にあたっての留意点〕
〔実務教員の実務経験〕 企業における動画制作実務経験者
〔備 考〕

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー基礎	授業科目名	W e b制作基礎		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年後期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	57	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	佐藤 睦志	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
情報発信の基本的な手段であるホームページの作成方法の作成を通して、自分が意図したことを実体化するための、ものづくりやITにおける基本的な考え方や知識を習得する。					
〔到達目標〕					
コードが提示されたサンプル用のWEBサイトを参考に、自分がつくりたいと定義した釜石の観光ホームページを作成できるようになる。また、サーバーとクライアントの役割や、データ（文書構造）と装飾と動きは分離して定義すべきことを理解できるようになる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
本授業は課題の内容（60％）、受講態度（40％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
特になし					
授業計画・内容					
1週	WEBサイトの仕組み、開発環境の設定				
2週	HTML（HTMLとは、HTMLのタグを知ろう）				
3週	WEBサイトにおける、HTML、CSS、JavaScriptの役割について理解する				
4週	CSS（CSSの利用、セレクト指定方法、文字や文章の装飾）				
5週	HTMLとJavaScript（フォームを作り、JavaScriptで入力された値を編集する）				
6週	CSS（様々なCSSサービスの紹介）				
7週	最低限知っておきたいデザインの知識				
8週	自分で撮影した写真を編集しよう				
9週	WEBサービスを活用してチラシを作成しよう				
10～11週	CSS（幅と高さを指定する、余白を調整する、レイアウトを設定しよう）				
12週	CSS（ページ全体のレイアウトを設定しよう）				

13～16週	WebCafeのホームページを作成しよう
17～19週	WebCafeのホームページを参考に釜石の観光ホームページを作成しよう
〔教材・テキスト等〕 レジュメ	
〔履修にあたっての留意点〕	
〔実務教員の実務経験〕 企業における I T 実務経験者	
〔備 考〕 6～9週目は留学期間	

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅰ		授業科目名	社会心理基礎		
所 属	外語観光学科		開講期間	1 年前期		
授業方法	講義・演習		授業時間数	6	対応DP	1,3
担当講師	松島 理香子	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 自分のやる気を維持したり人間関係を構築していくうえで重要となる「人の心理」について、基本的な理論を理解する。						
〔到達目標〕 ・自分の感情を適切にコントロールし、人の心情に配慮した行動をとることができる。 ・問題解決・目標達成に向けた課題設定ができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、出席率（20％）、受講態度（50％）により評価する。						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1コマ目	授業オリエンテーション、学習心理学「心と行動の関係」					
2コマ目	認知心理学「心と物事の捉え方の関係」					
3－4コマ目	社会心理学「自分と他者の心」					
5コマ目	事例研究					
6コマ目	まとめ					
〔教材・テキスト等〕 レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅰ	授業科目名	キャリアデザインⅠ		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	15	対応DP	1,3,4
担当講師	大矢 由美子	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 過去の経験を洗い出し、自分自身の興味・関心事や得手不得手・適性等を整理する。					
〔到達目標〕 自分自身の特性について、過去のエピソードを交えながら説明することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（50％）、出席率（20％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 特になし					
授業計画・内容					
1コマ目	授業オリエンテーション、導入ワーク				
2～13コマ目	自己分析ワーク・ディスカッション				
14～15コマ目	自己PR文、プレエントリーシート作成				
〔教材・テキスト等〕 レジュメ （PCを使用する回については、事前に講師から指示あり）					
〔履修にあたっての留意点〕 ワークとディスカッション中心 授業内で作成・提出を求める課題は、定期試験と同等の評価根拠とする					
〔実務教員の実務経験〕 一般企業（総合建設業、福祉および医療分野のソフトウェア開発・販売業）、国立大学法人、広域通信制高校での勤務経験有					
〔備 考〕 特になし					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅰ	授業科目名	業界職業研究Ⅰ		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	43	対応 D P	1,2
担当講師	大矢 由美子	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 業界や職業に関する理解を広げながら、自分自身の適性や興味と照らし合わせて将来就きたい職業について考える。					
〔到達目標〕 ・職業を選択するうえで基準となることを、自分の言葉で説明できる。 ・自分自身の就職活動について、主体的にスケジュール管理ができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（50％）、出席率（20％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 特になし					
授業計画・内容					
1 コマ目	授業オリエンテーション、主要情報ツール初期設定				
2 ～ 3 コマ目	適性検査・分析				
4 ～ 36 コマ目	業界研究・職業研究（外部講師によるワーク・講演・ガイダンスも適宜含む）				
37 ～ 43 コマ目	業界職業研究調査のまとめ・発表				
〔教材・テキスト等〕 レジュメ （PCを使用する回については、事前に講師から指示あり）					
〔履修にあたっての留意点〕 授業内で作成・提出を求める課題は、定期試験と同等の評価根拠とする					
〔実務教員の実務経験〕 一般企業（総合建設業、福祉および医療分野のソフトウェア開発・販売業）、国立大学法人、広域通信制高校での勤務経験有					
〔備 考〕 特になし					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅰ	授業科目名	就職試験対策Ⅰ		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	72	対応 D P	1,4
担当講師	山田 健太郎/	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・就職試験で出題されることが多い言語（国語）、非言語（算数）、時事・社会分野の問題演習を行う。 ・新聞記事を用いて意見交換を行う。					
〔到達目標〕					
・基礎レベルの問題を解くことができる。 ・指定された時間内に問題を解くことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
本授業は定期試験（50％）、小テスト（20％）、受講態度（30％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
・自主的に問題演習に取り組むこと。 ・普段から新聞を読む等、社会の出来事に興味を持ち情報収集に努めることが望ましい。					
授業計画・内容					
1 ～ 2 コマ目	オリエンテーション				
3 ～ 6 5 コマ目	非言語分野：割合・比、方程式、場合の数、確率、推論、資料の読み取り ※適宜小テスト実施				
6 6 ～ 6 9 コマ目	言語分野：語句の関係、空欄補充、文章整序 ※適宜小テスト実施				
7 0 ～ 7 2 コマ目	理解度把握試験実施・振り返り				
〔教材・テキスト等〕					
「1 日 1 0 分」からはじめるSPI基本問題集 柳本新二 大和書房					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力Ⅱ	授業科目名	TOEIC L&R 演習Ⅱ		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	100	対応 D P	2,4
担当講師	三上佳月/藤原花連	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ビジネスの場面における日常的かつ利用頻度の高い英単語や会話を理解し、英語によるコミュニケーションに対応できる語学力を習得する。					
〔到達目標〕 TOEIC® 7 0 0 点以上を目指す。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は定期試験（50％）、小テスト（20％）、受講態度（30％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内容の復習・問題演習に努めること。					
授業計画・内容					
20コマ	1年次の復習				
23コマ	TOEIC L&R TEST 音読特急 速聴力をつける				
42コマ	リーディングドリル TOEIC® L&R TEST PART 7				
9コマ	模試実施・解説				
6コマ	年2回以上 TOEIC受験				
〔教材・テキスト等〕 TOEIC L&R TEST 音読特急 速聴力をつける、リーディングドリル TOEIC® L&R TEST PART 7、公式TOEIC問題集 10、レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力Ⅱ	授業科目名	観光英語Ⅱ		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	72	対応 D P	2,4
担当講師	遠藤 ゆりえ	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 観光業に携わる上で必要となる基礎的な英語力とコミュニケーションスキルをベースとして、実践を想定した自然な会話ができるようになることを目指す。					
〔到達目標〕 日常レベルの英会話ができるようになること、その上で日本の文化や観光地を紹介するための会話力を身につける。ロールプレイなどを通じてよどみなく発話できるようになること。					
〔成績評価の方法・基準〕 定期試験（40％）、授業内のミニテスト（30％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業の復習に取り組むこと、様々な英語のソースに積極的に触れること。					
授業計画・内容					
5月	授業オリエンテーション、自己紹介、レベル判定ミニテスト				
6月 7月	ディクテーション練習、観光に必要な英単語の習得、基本的な日常会話トレーニング 定期試験に向けた復習				
9月～	前期の内容＋ロールプレイ等を通じた観光英会話トレーニング				
2月	1年間の総復習、定期試験に向けた学種				
3月	定期試験				
〔教材・テキスト等〕 『通訳案内士試験にでる日本的事象英文説明300選』 著／ハロー通訳アカデミー 植山源一郎					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕 外国人旅行者に対する観光ガイド、スクールトリップ（アメリカ、オーストラリア等）のツアー企画・ガイド経験者。					
〔備 考〕					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力Ⅱ	授業科目名	英会話Ⅱ		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	110	対応 D P	2,4
担当講師	三上 佳月	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・英語の窓を通じて多様な文化に触れる喜びを知りながら、自身の感性や論理的思考に基づく自己表現を自信を持って行える様になるための思考力を培う。					
・観光人材として、自身とお客様双方にとってストレス無くコミュニケーションが取れる程度のアドリブ会話力を身につける。					
〔到達目標〕					
・1分間の発語数（wpm）150語の速度で音読をした後に、続けて概要を日本語に訳して伝えることができる状態。					
・wpm130語の速度で原稿の無い英語の質問に対し、テンポよく英語で返答できる状態。					
〔成績評価の方法・基準〕					
試験（30％）、出席率（30％）、受講態度（40％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
スピーキング速度向上のための練習					
授業計画・内容					
1コマ目	自己紹介・授業オリエンテーション				
17コマ	発語練習：歌や文章を使った音読練習、内容理解練習、発音チェック				
17コマ	シナリオ作りとロールプレイ：会話のイメージ力の習得、アドリブ会話練習、重要表現の確認				
16コマ	対話・スピーチ・プレゼンテーション：自己表現力の習得、語彙力の習得				
52コマ目	中間考査（プレゼンテーション＋質疑応答）				
18コマ	発語練習：歌や文章を使った音読練習、内容理解練習、発音チェック				
18コマ	シナリオ作りとロールプレイ：会話のイメージ力の習得、アドリブ会話練習、重要表現の確認				
21コマ	対話・スピーチ・プレゼンテーション：自己表現力の習得、語彙力の習得				
110コマ目	学年末考査（プレゼンテーション＋質疑応答）				

〔教材・テキスト等〕 発語練習のための英語素材（授業のたびに提供）
〔履修にあたっての留意点〕
〔実務教員の実務経験〕
〔備 考〕

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	言語運用能力Ⅱ	授業科目名	卒業研究		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年後期		
授業方法	実習	授業時間数	118	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	藤原 花連	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 他の科目の学びと合わせた総合的な研究に、企業等と連携して取り組むことで、学生生活の集大成とする。 グループで研究テーマを設定し、制作物または提言資料にまとめ提出・プレゼンテーションを実施する。					
〔到達目標〕 グループ内および連携先と適切なタイミングで情報共有ができ、協力を得ながら成果を残すことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、出席率（10％）、受講態度（30％）、プレゼンテーション（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
5コマ	テーマ設定のための検討・調査・交渉～企画書作成				
46コマ	調査研究活動				
6コマ	中間報告				
46コマ	調査研究活動				
15コマ	最終プレゼンテーション・振り返り資料まとめ				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕 調査研究はグループ活動を想定					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	観光マネジメントⅡ	授業科目名	観光地域づくり実践		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年前期		
授業方法	実習	授業時間数	130	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	藤原 花連	実務教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 地元企業や団体と連携してグローバルとローカルの観点から地域の観光振興を図る方策について考え、発信する力を養う。					
〔到達目標〕 ・三方良し（受入地域・旅行者・観光事業者）の観光のためにどのような仕組みづくりが必要かを理解し、持続可能な観光に配慮した釜石市および三陸沿岸地域の観光振興に寄与する提案ができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、受講態度（50％）、プレゼンテーション（20％）により評価する。また、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 普段から地元および国内外の観光資源に関心を持つことが望ましい。					
授業計画・内容					
24コマ	テーマ設定のための検討・調査・交渉～企画書作成				
38コマ	調査研究活動				
6コマ	中間報告				
32コマ	企業等連携活動				
30コマ	最終プレゼンテーション・振り返り資料まとめ				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕 グループ活動を想定					
〔実務教員の実務経験〕 企業等における実務経験者					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	地域産業論Ⅰ	授業科目名	経済学		
所 属	外語観光学科	開講期間	1 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	72	対応 D P	1,2,3
担当講師	吉田 友哉	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ミクロ経済学及びマクロ経済学の基礎学習を通じて、社会で起こる出来事を経済学的にとらえて考察し、学習したことを地域社会の問題解決に生かせるようになる。					
〔到達目標〕 地域社会における活動について、経済学的な分析及び解決アプローチができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は授業態度（20％）、レポート（60％）、プレゼンテーション（20％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 授業内で終わらなかった制作課題は、次回の授業までに必ず終わらせておくこと。					
授業計画・内容					
1 ～30コマ	ミクロ経済学：需要と供給，市場分析,国際貿易，ゲーム理論等				
31～60コマ	マクロ経済学：GDP（消費者・企業・政府の活動），IS-LM分析，消費理論，等				
61コマ～	1 年の振り返り、最終レポート作成及び発表				
〔教材・テキスト等〕 ・ベーシック+（プラス）／ミクロ経済学の基礎 ・ベーシック+（プラス）／マクロ経済学の基礎〈第2版〉					
〔履修にあたっての留意点〕 経済学は日常生活につながる学習なので、日々の生活の中で様々な疑問を持つよう努めること。					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	地域産業論Ⅱ	授業科目名	卒業研究		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年後期		
授業方法	実習	授業時間数	58	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	藤原 花連	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 他の科目の学びと合わせた総合的な研究に、企業等と連携して取り組むことで、学生生活の集大成とする。 グループで研究テーマを設定し、制作物または提言資料にまとめ提出・プレゼンテーションを実施する。					
〔到達目標〕 グループ内および連携先と適切なタイミングで情報共有ができ、協力を得ながら成果を残すことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、出席率（10％）、受講態度（30％）、プレゼンテーション（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
5コマ	テーマ設定のための検討・調査・交渉～企画書作成				
22コマ	調査研究活動				
6コマ	中間報告				
20コマ	調査研究活動				
5コマ	最終プレゼンテーション・振り返り資料まとめ				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー応用	授業科目名	W e b制作応用		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	91	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	佐藤 睦志	実務教員	分類	必修	

〔授業のねらい・概要〕

「関係人口を増やし、繋ぎとめるためのWEBサイト」の作成と運用をテーマに、ターゲットの分析や地域の魅力の深掘りを通して、ロジカルシンキングや生成AIの活用方法、作成したWEBサイトの宣伝方法、SNSの運用法、必要最低限のプロジェクトマネジメント手法を習得する。

〔到達目標〕

「関係人口を増やし、繋ぎとめるためのWEBサイト」の作成及び運用に関する企画書を作成できるようになる。

〔成績評価の方法・基準〕

本授業は課題の内容（60%）、受講態度（30%）、プレゼンテーション（10%）により評価する。また、出席率が80%以上であることも単位取得の条件とする。

〔授業時間外に必要な学修内容〕

特になし

授業計画・内容

1～17週	地域の魅力の深掘り演習
3週	生成AIについて知っておくべき知識と活用方法
4週	関係人口となる人たちの特徴と、地域に対する要求についての調査
5～6週	ロジカルシンキングの基本とロジックツリーの作成方法
7～8週	ロジカルシンキングの応用（1）問題解決手法
9～10週	関係人口となる人たちの特徴と、地域に対する要求の分析
11週	各SNSの特徴について
12週	WEBサイトとSNS、広告媒体の役割の定義
13週	SNSの活用方法
14～15週	eコマースの活用方法
16～17週	ロジカルシンキングの応用（2）プロジェクトマネジメントの基礎

18～19週	地域の魅力の深掘りまとめ（または予備日）
20～36週	「関係人口を増やし、繋ぎとめるためのWEBサイト」の作成及び運用に関する企画書の作成
〔教材・テキスト等〕 レジュメ	
〔履修にあたっての留意点〕	
〔実務教員の実務経験〕 企業における I T 実務経験者	
〔備 考〕 地域の魅力の深掘り演習は、前期2～17週に毎週1コマずつ行う（1週目は概論）。	

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	I Tリテラシー応用		授業科目名	卒業研究		
所 属	外語観光学科		開講期間	2 年後期		
授業方法	実習		授業時間数	34	対応 D P	1,2,3,4
担当講師	藤原 花連	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 他の科目の学びと合わせた総合的な研究に、企業等と連携して取り組むことで、学生生活の集大成とする。 グループで研究テーマを設定し、制作物または提言資料にまとめ提出・プレゼンテーションを実施する。						
〔到達目標〕 グループ内および連携先と適切なタイミングで情報共有ができ、協力を得ながら成果を残すことができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（30％）、出席率（10％）、受講態度（30％）、プレゼンテーション（30％）により評価する。						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
5コマ	テーマ設定のための検討・調査・交渉～企画書作成					
23コマ	調査研究活動					
6コマ	最終プレゼンテーション・振り返り資料まとめ					
〔教材・テキスト等〕						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅱ	授業科目名	キャリアデザインⅡ		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年通期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	36	対応 D P	1,3,4
担当講師	大矢 由美子	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 社会人としての将来の理想像について、時代の変化も加味しながら考えることで、具体的な目標設定を行う。					
〔到達目標〕 10年後の自分の理想の姿について、できるだけ具体的な理由を添えて説明することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（50％）、出席率（20％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 特になし					
授業計画・内容					
1コマ目	授業オリエンテーション、現況確認・共有				
2～28コマ目	キャリアプランとライフプラン設定に係る有効情報の探索・テーマ別ディスカッション				
29～34コマ目	※外部講師によるワークショップ（2～34コマまでの期間内の6コマ程度を想定				
35～36コマ目	まとめ				
〔教材・テキスト等〕 レジュメ （PCを使用する回については、事前に講師から指示あり）					
〔履修にあたっての留意点〕 ワークとディスカッション中心 授業内で作成・提出を求める課題は、定期試験と同等の評価根拠とする					
〔実務教員の実務経験〕 一般企業（総合建設業、福祉および医療分野のソフトウェア開発・販売業）、国立大学法人、広域通信制高校での勤務経験有					
〔備 考〕 特になし					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅱ	授業科目名	業界職業研究Ⅱ		
所 属	外語観光学科	開講期間	2 年前期		
授業方法	講義・演習	授業時間数	20	対応 D P	1,2
担当講師	大矢 由美子	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 業界や職業に関する理解を深め、職業の選択を行う。					
〔到達目標〕 ・明確な志望動機を持って、受験先企業等を決定できる。					
〔成績評価の方法・基準〕 本授業は課題の内容（50％）、出席率（20％）、受講態度（30％）により評価する。					
〔授業時間外に必要な学修内容〕 特になし					
授業計画・内容					
1 コマ目	授業オリエンテーション、現況確認・共有				
2 ～19コマ目	業界研究、受験希望先企業にフォーカスした情報収集活動				
20コマ目	まとめ				
〔教材・テキスト等〕 レジュメ （PCを使用する回については、事前に講師から指示あり）					
〔履修にあたっての留意点〕 授業内で作成・提出を求める課題は、定期試験と同等の評価根拠とする					
〔実務教員の実務経験〕 一般企業（総合建設業、福祉および医療分野のソフトウェア開発・販売業）、国立大学法人、広域通信制高校での勤務経験有					
〔備 考〕 特になし					

(様式1)

授業シラバス

釜石市国際外語大学校

単位名	基礎教養Ⅱ		授業科目名	就職試験対策Ⅱ		
所 属	外語観光学科		開講期間	2 年前期		
授業方法	講義・演習		授業時間数	38	対応 D P	1,4
担当講師	山田 健太郎	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・就職試験で出題されることが多い言語（国語）、非言語（算数）、時事・社会分野の問題演習を行う。 ・新聞記事を用いて意見交換を行う。						
〔到達目標〕						
・応用レベルの問題を解くことができる。 ・指定された時間内に問題を解くことができる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
本授業は定期試験（50％）、小テスト（20％）、受講態度（30％）により評価する。また、提出物の期限が厳守され、すべての評価が「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
・自主的に問題演習に取り組むこと。 ・普段から新聞を読む等、社会の出来事に興味を持ち情報収集に努めることが望ましい。						
授業計画・内容						
1 ～ 3 0 コマ	非言語分野の解法確認・応用問題演習					
3 1 ～ 3 6 コマ	言語分野の解法確認・応用問題演習					
3 7 ～ 3 8 コマ	定期試験実施・振り返り					
〔教材・テキスト等〕						
「1 日 1 0 分」から始めるSPI基本問題集 柳本新二 大和書房						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						